

授業改善シート〔国語〕

校番(13) 福山市立蔵王小学校

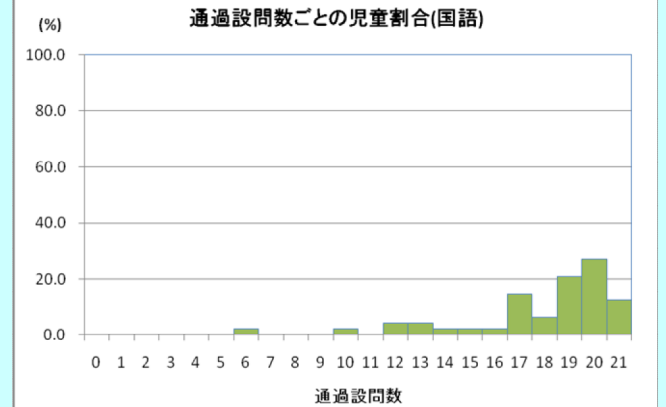
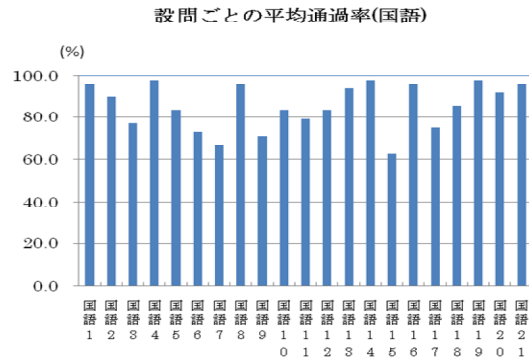
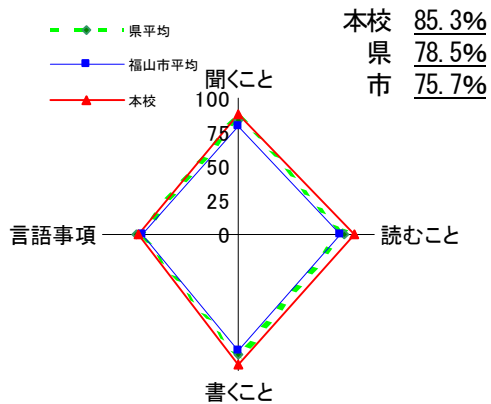
昨年度課題

- ①学年別漢字配当表に示す漢字の読みに課題がある。
- ②簡単な単語についてローマ字で書くことに課題がある。
- ③段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことに課題がある。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①各学年で習う漢字を早期に指導し、繰り返し学習で定着させる。
 - ②日頃から日常生活で使う言葉をローマ字で書かせるなどローマ字を使うことに慣れさせ定着させる。
 - ③説明文の指導において段落相互の関係を道筋立てて考えさせ、文章を深く読み、どの説明になっているかを考える指導を継続する。その際、ペアやグルーブで意見を交流し、考えを深める工夫をする。
- 《本年度の目標値 段落相互の関係に関連する設問の通貨率を70%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎学年別漢字配当表に示す第3学年の漢字（自信）を書くことに課題がある。(通過率 66.7%)
- ◎主語述語の関係が理解できていない。(通過率 70.8%)
- ◎場面の移り変わりや情景の想像を把握することに課題がある。(通過率 62.5%)

取組みの検証

- 時期 2月前半
- 方法 CRT調査問題
- 目標値：通過率を10%向上

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業・家庭学習）

【国語科】

- ① 日記に使う漢字を〇〇字以上にするなど、習った漢字を普段から使う習慣を付けさせる。
- ② 文章の読み取りの場面において、主語と述語を線で結ぶなど、主述を意識する機会を増やす。
- ③ 教科書の記述を、自分の言葉で言い換えるなど、場面の把握を確実に行う。

【全校・他教科等】

- ・各学年で習う漢字を早期に指導し、繰り返し学習を徹底して定着させる。
- ・ドリルタイムを活用して、漢字や文法のドリルに取り組む。

来年度の目標値

- 漢字の書き取りに関する設問の通過率を75%以上にする。
- 場面把握に関する設問の通過率を70%以上にする。

授業改善シート〔算数〕

校番(13) 福山市立蔵王小学校

昨年度課題

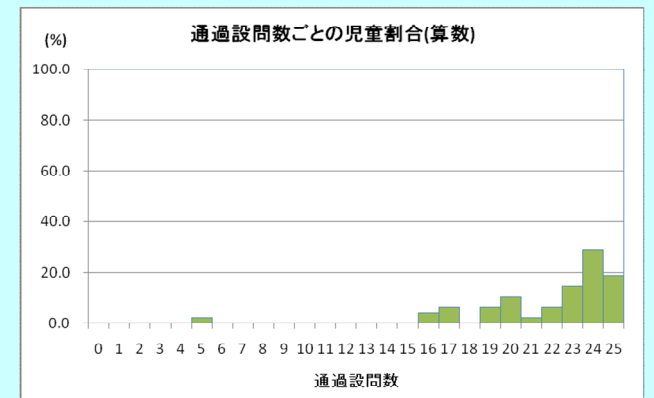
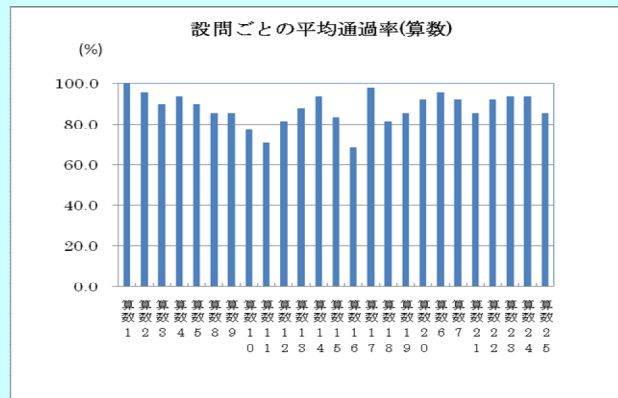
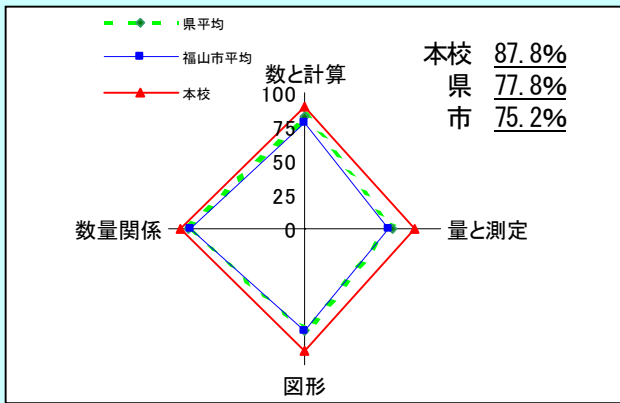
- ①数量の関係を () を使って1つの式で表すことに課題がある。
- ②数量の関係を見つけて立式することに課題がある。
- ③定規で方眼紙に作図することに課題がある。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①問題場面を具体的にとらえ、式の意味を考えながら立式させる。
- ②数量関係のパターンを見つけられる練習問題を仕組む。
- ③直角の意味をしっかりとらえさせ、作図させる。

《本年度の目標値 数量関係や図形の設定の通過率を70%以上にする》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎100をひとまとまりとして考える、数の相対的な大きさの理解に課題がある。(通過率77.1%)
- ◎およその重さを想像する、量感に課題がある。(通過率70.8%)
- ◎複合図形の面積を求めることに課題がある。(通過率68.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【算数科】

- ①数と計算の単元において、「まとまりの何個分」という考え方を、図や言葉で表すことで身につけさせる。
- ②ノートやランドセルの重さを量るなど、算数と実生活を結び付ける。実際に体を使う、体験的な算数的活動を、意図的に取り入れる。
- ③式をことばで表す活動を取り入れることで、順序よく考えを説明させる。

【全校・他教科等】

- ・自分や友だちの考えを説明する機会を増やし、論理的な思考力を育てる。

取組みの検証

- 時期 2月前半 ○目標値 通過率を10%以上
- 方法 CRT調査問題

来年度の目標値

- 量と測定に関する設問の通過率を85%以上にする。